

# 吉田地域における 「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

## 〔開催概要〕

日時: 令和元年10月8日(火) 18:00~19:00

場所: 吉田福祉センター

※ 令和元年度 第5回目

令和元年11月  
鹿児島市 市民協働課

# 「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

日時: 令和元年10月8日(火) 18:00～19:00

場所: 吉田福祉センター

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
1	特定非営利活動法人かごしま地域健康支援工房	① 地域サロンの取組みに力を入れているが、年々サロンに参加される方が少なくなっている。そこから、介護が必要な方へのきめ細やかな介護、また、介護にならないための取組みへと繋げていきたい。しかし、サロンに行きたいけれども足がなく、主催者側もどうしようもできない状況である。地域行事も少なくなり、予算も難しい状況であるが、山間部としては、昔ながらの行事を継続しながら新たな取組みをしなければならない。地域サロンや地域の取組みに対して、助成など何かしら支援をお願いしたい。	① 介護予防に関する取組みは大変重要だと思っています。全市的に高齢化が進む中で仰ったような取組みを進めていくことは大変重要です。皆様方の法人におかれては、本市の市民とつくる協働のまち事業も活用いただきながら、地域の高齢者福祉に熱心に取り組んでおられることに心から感謝申し上げます。 それぞれの地域に根ざした取組みを進めていき、多くの行事等に多くの方々が参加して頂くことは、地域で健やかに元気でお過ごし頂く環境づくりに大きく貢献して頂いていると思っています。 補助事業については、市においては、町内会や地域コミュニティ協議会に対しまして、それらの団体が実施する福祉的活動に関わる経費や、事業実施に必要な保険料については、補助対象としております。また、本年4月から、地域の高齢者の生活援助を行うボランティア団体に対して、支え合い活動補助事業を行っておりますので、是非活用して頂ければと思います。 また、地域サロンに行くための交通手段が不足しているということですが、コミュニティバスあいばすも運行しておりますし、敬老パスの交付など、高齢者の方々がサロンや街中に移動するための交通手段として活用して頂ければと思っています。また、地域の皆様が地域の方々を支えていく活動の支援を行政としてもすべきだと思いますし、そのことが介護予防に繋がっていくと思いますので、是非今までの取組みを進めて頂いて、包括的なものがあれば市の担当部局にもご相談頂ければと思います。	健康福祉局 企画財政局 市民局	市長回答のとおり
2	吉田地域コミュニティ協議会連絡会	② 吉田地域の広範囲に、ヤンバルトサカヤスデが大量発生している。一般家庭に駆除剤を無料で配布して頂いているが、抜本的な駆除対策になっていない。もっと効果のある駆除対策を市で考えていただきたい。	② ヤンバルトサカヤスデについては、確認されてから16年が経過しておりまして、県内では25市町村で発生が確認されております。これまで県において、生態に関する調査や駆除剤の開発などの研究をしておりますが、完全撲滅に至る成果は出ていないようで、今のところ、駆除剤で対応するしかありません。これからも県の研究機関において、ヤスデの駆除に対応する薬剤を開発して欲しいと思いますが、なかなか新規の薬剤はできていない状況です。 ヤンバルトサカヤスデは乾燥や薬剤に弱いということですので、土手などの草刈りを徹底して、日当たりを良くするなど、地域を挙げてヤスデが生息しにくい環境づくりが大切だと思います。また、発生を防ぐには市が行う公共部分と、町内会主体で行う民地を同時駆除することで、より効果的な駆除ができると思いますので、今後とも活動計画がある場合には環境衛生課にご相談頂いて、官民一体となって駆除を行って参りたいと思います。また、県の関係機関にも早く有効な薬剤を開発して頂くように要請をしていきたいと思っています。	環境局	市長回答のとおり

# 「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

日時: 令和元年10月8日(火) 18:00~19:00

場所: 吉田福祉センター

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
3	かごしま市商工会吉田支部	③ 人口が減少している。高齢者の一人暮らしも多く、空き家も増えている。良い条件の宅地もない。市の対策として人口増をどのように考えるか。始良に工業団地がいくつかできているが、吉田地域にも作れないのか。	③ かねてから地域の商工業の発展に多大なご尽力を頂いていることに心から感謝申し上げます。 人口減少対策は全国的に喫緊の課題となっており、鹿児島市においても最重要課題になっています。鹿児島市においても、第5次総合計画地域別計画に基づいて、幹線道路の整備促進、公共交通不便地域における交通手段の確保、地域特産物の生産振興などの各種施策に取り組むことで、地域の活力の維持増進を図って参りたいと思います。始良市と協働してトンネル工事をやっていますが、これも1つの大きな取組みであると思っています。また、平成30年度からは新たに移住推進室も設けています。また、情報発信など様々な取組みを進めております。また、空き家も多いとのことで、平成29年度から空家活用アドバイザーを設置し、専門的な知識を有する宅地建物取引士や建築士などを無料で派遣して、空き家活用促進を図っています。 また、吉田地域は素晴らしい地域だということで、ゴルフ場が今ありますが、ここを拠点に開発をしたいという県外の業者の話も伺っております。また実現には至っていないようですが、鹿児島に関係のない方々が地域の魅力を受け止めて、そこに何かを作りたいという思いは持っておられるようですので、トップセールスで、移住や企業、モノを持ってきて頂けるように働きかけていきたいと思っています。 工業団地については、吉田地域は一部を除いて都市計画区域外でもありますし、予算等も考慮しながら進めないといけませんので、今はそれぞれの環境整備をしっかりと進め、空き家対策や移住をより一層進めていくことを重点的にやっていきたいと思っています。全体的な状況の把握をしながら住環境の整備に努めたいと思いますので、ご協力方よろしくお願いたします。	企画財政局 建設局 産業局	【企画財政局】 市長回答のとおり  【建設局】 市長回答のとおり 始良市と協働し吉田地域の幹線道路である市道奥之宇都線(宇都トンネル)の整備に取り組んでおり、早期開通を目指し、事業の推進を図っております。  【産業局】 産業創出課では、市外企業の誘致活動のほか、かごしまを支える産業の成長促進を図るため、吉田地域を含む市内企業の事業拡大による増設等の支援に取り組むとともに、他地域への流出を防ぐ留置活動にも努めています。引き続き、積極的な企業訪問や、関係機関・民間と連携して企業が求める土地やオフィス等の物件情報の収集及び提供を行う等、企業立地推進に取り組んでいきます。

# 「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

日時: 令和元年10月8日(火) 18:00~19:00

場所: 吉田福祉センター

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
4	吉田地域子育て支援者懇談会	④ 子どもを中心とした視点から鹿児島市の未来の展望をお聞きしたい。待機児童対策は都会ではより重要であるが、人口減少問題の方が地方ではより顕著である。始良市に人が移っていく現状もある。子どもを安心して育てられる環境が重要になってくる。是非、鹿児島市は羨ましいと思われるような、人口が増える思い切った政策を実施して頂きたい。	④ 常日頃から、子育て支援について特段のご努力を頂いていることに厚く御礼申し上げます。 人口減少問題は喫緊の課題であり、子育てをする環境整備をしっかりと進めていくことが大変重要であると思っています。それぞれの地域で子育て支援の取り組みをしておりますが、子育て環境の良い所に人が流れていくという状況もあるようです。 鹿児島市を含めて、始良市、日置市、いちき串木野市の4市で、連携中枢都市圏を形成しております。それぞれの課題を共有して、互いに情報を持ちながら取り組みを進めていこうということで、協議会を設置しました。その中で、少子化対策、そして高齢化対策が大きな課題であります。特に子育てについては、吉田地域は始良市に近いですので、お互いに教育環境や子育て環境を共有した取り組みを進めようということで、項目に入っております。鹿児島の将来を担う子供達が健全で夢や希望を持ってすくすくと育っていけるような環境づくりが大変重要であると思っております。 合併して15年経ちましたので、旧5町や旧鹿児島市ということではなく、鹿児島市全体としての取り組みを進めていき、環境整備が大切だと思います。移住して頂くということや、都会の企業の方に吉田地域の魅力を発信することで、吉田地域に来て頂きたいと思います。また、子育てをするなら鹿児島市と常に言っておりますので、それに恥じないような事業を進めていかなければならないと思います。 皆様方が常日頃から取り組まれていることについては大変貴重な取り組みですので、担当部局にも伝えたいと思いますし、また直接お話をして頂きたいと思っております。	企画財政局 健康福祉局 産業局	【企画財政局】 市長回答のとおり  【健康福祉局】 連携中枢都市圏と連携したイベント等を通じた結婚支援や子育て支援に関する情報発信の強化のほか、保育所・児童クラブの整備による利用定員の拡大、仕事と生活を両立しやすい環境の整備に取り組んでおり、今後も各面から妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援のさらなる充実を図ってまいります。  【産業局】 産業創出課では、市外企業の誘致活動のほか、かごしまを支える産業の成長促進を図るため、吉田地域を含む市内企業の事業拡大による増設等の支援に取り組むとともに、他地域への流出を防ぐ留置活動にも努めています。引き続き、積極的な企業訪問や、関係機関・民間との連携して企業が求める土地やオフィス等の物件情報の収集及び提供を行う等、企業立地推進に取り組んでいきます。

# 「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

日時: 令和元年10月8日(火) 18:00～19:00

場所: 吉田福祉センター

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
5	吉田地区野菜振興会	⑤ 平成21年からハウス設置について、償却資産税が課税されるようになった。それ以来10年間、防災営農対策事業でのハウス設置はほとんどない。せっかくの良い事業が償却資産税のために活用されていない。補助金を含む事業費全体に課税するのではなく、自己負担分に課税するなどできないのか。また、他のハウス設置者の税の状況はどうなっているのか。	⑤ 本市の園芸振興、地域農業のけん引役として多大な貢献を頂いておりますことに心から感謝申し上げます。 防災営農対策事業におきましては、桜島の降灰対策や地域農業の健全な育成を目的としまして生産者のハウス設置などに助成を行って参りました。償却資産税の減免については、台風や火災などの災害により損害を受けたものに対しては減免をしておりますが、降灰施設のハウス設置については、課税の公平性を保つ観点からも、償却資産として課税をしております。 これは、平成21年に大きな問題になっておりまして、近隣の市でハウスをされていた方が鹿児島市は無税だということで、鹿児島市にハウス栽培を移された例があり、近隣の市より苦言を呈されました。それ以降は、国に話がいきまして、税の公平性に欠けるということでハウス全体について償却資産税を課税しております。 要望については、この状況ではなかなか事業が進まないということで、国に実情を訴えてはおりますが、公平性の観点からも、自己負担分についてだけではなくて、償却資産全体に課税するのが妥当であるということで国からも指導がきておりまして、特段の事情がない限り、減免は今の基準ではなかなか出来ないとことです。 もし、払っていない方がいる場合には、しっかりと払うように対応をしていきます。	総務局 産業局	市長回答のとおり
6	吉田地域コミュニティ協議会連絡会	⑥ 吉田小、吉田北中の生徒が減っている。統廃合の話などが進んでいるのではないかと非常に心配している。地域活性化住宅の建設をお願いしていたところ、5戸の建設が決定し喜んでいますが、吉田校区は過疎が進んで、空き家も増えている。何とか地域をアピールするために、色々なイベントをやっているが、なかなか目に見えて人口が増えるなどしていない。そこで、何とか地域活性化住宅の追加建設をお願いできないか、もしくは、地域を活性化のご支援などお願いしたい。	⑥ 地域活性化住宅の建設については、吉田地域においては5戸の建設を進めております。建設地の推薦など、大変ご協力を頂きましたことに感謝申し上げます。 現在計画中のものについては、今年度に設計を行い、来年度には工事に着手する予定です。追加建設については、市営住宅全体のあり方を検討しておりまして、平成30年度より既存住宅の建て替えを除いて、新たな建設は行わないという方針にしております。今後、追加の建設については、財政状況等を踏まえながら、住宅環境などをしっかりと見極め、慎重に検討しないと、いけないと思います。吉田地域については、現在計画中の5戸についてしっかりと進めていきたいと考えております。そこに子育て中の方々が住んで頂くことを心から期待しております。	建設局	市長回答のとおり

# 「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

日時: 令和元年10月8日(火) 18:00～19:00

場所: 吉田福祉センター

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
7	吉田地域子育て支援者懇談会	<p>⑦ 今回の大雨を経て、子育て世帯から多くの不安の声が寄せられた。1人親世帯や障がい児を持つ世帯は大雨や台風など来るととても怖い。避難場所が分からないなどの声もある。行政に要望をするだけでなく、企業、施設、行政、地域などが一体的に、様々なことに前向きに現状を改善していきたいが、その中でも子どもの環境に関わる防災について市長の考えをお聞かせ頂きたい。</p>	<p>⑦ 今回の6月末から7月はじめにかけての大雨は、全国で初めて避難指示(緊急)を出しまして、全国的なニュースになりましたが、平成5年の8・6災害以上の雨量に達しました。当然ながら大きな災害が予測されましたので、避難指示を出しました。その際に、避難所が分からないとか、避難所にたくさんの方が来られて避難できなかったとか、河川の近くにあつて避難するにも危険だったなどのご意見や、また、1人親世帯、障がい児のいる世帯への対応など、様々な課題が出てきております。それらの課題をしっかりと検証して、鹿児島島の地域防災力の強化や整備に力を入れていきたいと思ひます。</p> <p>防災マップが各家庭に配られておりますが、なかなか見る機会がないという方も多しとの意見も頂いております。自分の環境がどう置かれているかをしっかりと把握をして頂くことが大切です。1人親世帯、障がい児を持った世帯などもそうだと思いますが、これからそういう方々のための支援対策も進めていかなければならないと思ひます。</p> <p>保育所等に在籍をしている世帯については、災害が予想される場合は、適宜保育所等あてに閉園の通知などをお送りしますが、それ以外の方々にはなかなか情報が発信できませんので、一時的に介護等が必要な場合には、家庭生活支援員を派遣する事業もありますし、被災された場合に自宅での保育が困難となった場合には、児童クラブ等も利用できますので、活用して頂きたいと思ひます。</p> <p>自宅周辺の防災マップ、ハザードマップを確認して、避難経路や避難場所について、家族で話し合い、確認することも大切だと思ひます。市としても皆様方がすぐに避難できるよう、情報発信をしていきたいと思ひます。</p>	<p>危機管理局 健康福祉局</p>	<p>【危機管理局】 令和元年6月末からの大雨に係る災害対応において生じた指定緊急避難場所の課題については、専門家の意見等をいただきながら、改善策等の検討を進めており、年内に取りまとめを行う予定です。</p> <p>また、自宅が安全な場合は自宅避難を、自宅が危険な場合は自宅外避難をするよう、市民の避難行動の理解促進を図るための周知動画を作成し、8月末からテレビ等での放送を行ったほか、市ホームページや市政出前トーク等で、市民への更なる周知を図っていきます。</p> <p>【健康福祉局】 避難所の周知については、今後、町内会等を通じて行っていきたいと考えています。また、障がい児のいる世帯については、福祉避難所を用意しているところがございますので、災害時に案内をしていきたいと思ひます。さらに、乳幼児や障がい者等の避難行動要支援者の把握や、個別支援計画の策定を進めており、今後とも、災害時の要配慮者対策の充実を図っていきます。その他、災害に特化することなく、ひとり親家庭等生活支援事業や子育て短期支援事業もございますのでご利用頂きたいと思ひます。</p>

## 「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

日時: 令和元年10月8日(火) 18:00～19:00

場所: 吉田福祉センター

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
8	特定非営利活動法人かごしま地域健康支援工房	<p>⑧ 鹿児島市における介護予防事業を進めていくためには、長寿あんしん相談センターや行政との連携・協力が必要であると常々考えている。吉田はお元気な方が多いが、介護予防については、なかなか意識が低く、確立できていない状況である。介護費の増大という面からも介護予防をしっかりと充実させていかないといけない。事業者側も努力を続けていかないといけないが、予防だけの事業となるとまだまだ資金面からも難しいので、助成金などもできれば多く出してほしい。また、介護予防に関して行政からの啓蒙啓発の取組みを含め、今以上に一緒に進めていって欲しい。</p>	<p>⑧ 常日頃から大変素晴らしい事業活動をされていることに心から敬意と感謝を申し上げます。高齢社会を迎え、健康寿命を延ばしていくという意味からも介護予防の取組みは大変重要だと思っております。</p> <p>鹿児島市も総合事業の実施を通じて、高齢者の皆様方の介護予防や自立支援を効果的に進めるために、長寿あんしん相談センターとサービスを実施する事業者の皆様方の連携協力が大変重要であると思っております。地域課題を共有する場である、地域ケア推進会議などで、ご意見を伺うなどしております。今お話をされたことなども、この会議でご披露頂ければと思います。</p> <p>また、本市においては、お達者クラブ、よかよか元気クラブ、老人クラブ、ふれあいサロン、また、吉田地区保健センターでも様々な健康講座を行っております。また、らくらく体操や鹿児島よかよか体操のDVD無料貸し出しも行っております。是非活用して頂いて、介護にならないよう、予防するための対策をそれぞれの皆様方に取組んで頂いて、私共も積極的に情報発信していきたいと思っております。また、市民とつくる協働のまち事業などの事業も活用して頂きながら、様々な活動の実績なども発信をして頂きたいと思っております。</p>	健康福祉局 市民局	市長回答のとおり